

も 森 林 の 話

第6話

日高南部森林管理署

鈴木 陽己

採用二年目の若手職員のコーナーです

一年間、四季折々の姿を見せる森林が真っ白になる季節となりました。

緑が生い茂る森林もいですが、雪が積もり真っ白な冬の森林にはまた違ったおもしろさ、発見があります。まず、葉が落ちていたため、夏よりも格段に見通しがよくなり、林内の様子を見ることができるようになります。そのため、森林の様子を把握しやすくなります。



夏と冬の違い、見通しがよくなります

一般的に丸太を生産するといふ面において、冬と夏では違いがあります。冬は高級家具や楽器材になるような良質な丸

太が生産される時期になっています。

夏の場合は生産された丸太を長期間山に積んでおくと、キウムシやカミキリムシなどの虫害により丸太の品質が落ちてしまうこと(丸太に穴があくなど)がよくあります。

しかし、冬になるとそういった虫害が発生しにくく、特に良質な丸太(太い丸太や長い丸太など)の生産に適した時期となっています。そのため、冬の丸太を積んで置く場所には多くの良質な丸太が集められます。



並べられた良質な丸太

そんな北海道の冬の森林で、夏と一番の違いは、雪

が積もっていることだと思います。積もった雪の上には車のタイヤ痕や野生動物の足跡など様々な痕跡が残っています。

特に野生動物の足跡は夏だと見つけることが非常に難しいですが、積雪状態では簡単に見つけることができます。

丸太を積んで置く場所は平坦で開けているため、エゾシカやエゾユキウサギ、ネズミなど多くの野生動物の足跡を観察することができます。観察する際に動物たちがどのような行動しているかイメージしながら足跡を観察してみると、種類によって足跡の形だけでなく行動も違つことがわかります。

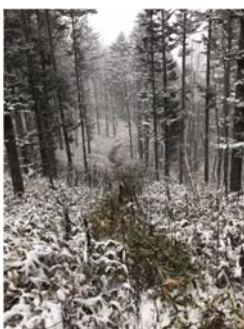


特徴的なエゾユキウサギの足跡

エゾユキウサギは非常に特徴的で、判別もしやすい足跡です。また、足跡はそこから中歩き回ったことがわかるくらい残っていることが多く、時には丸太の上で周囲を少し警戒していたことがわかる足跡もあります。

対して、ネズミは体が小さく丸太の隙間から隙間へ移動していることが多く、よく一直線に足跡が残っていることがあります。

こういった足跡を見ていると冬の寒さにも負けず懸命に生きていく動物たちの生命力とそれを育む森林の素晴らしさを感じるができます。



自分が歩いた足跡も残ります

皆さんもふとしたときに雪の上を見てみると新しい発見があるかもしれません。